

見下し。さぞ面白いことでしょー、ついでには、友だち
 のよしみにも、僕をつれて、空中の遊をさせてくれ玉へ」。
 鶴「それは君の考は、まことに無理のことである。な
 せなれば僕等は、羽があるから、飛ぶことは、自由自
 在だけれど、君は、長く水中に住ひしてるから、逆も
 空中の見物は、六づかしい。これはみな、それ／＼の
 生れつきだから、あきらめ玉へ」ど、とめましたが、
 なか／＼きかないものですから、鶴はしかたがなしに、
 一本の棒のまんなかを、龜にくわへさせて、二羽の鶴
 は棒の兩はしをくわへ、龜にどんな事があつても、け
 つして口をわいては、ならないと注意して、空中高く
 まいあがりました。其のうち程なく、或る町のさんと
 よへゆきましたとき子供がおーせい、あそんでをりま
 した、すると一人の子供が、此のありさまを見付ける
 と他の者までさわぎだして、わる口をいひてはやしま

した。で、龜はくやくしくなつて、腹たちまぎれに、子
 供だちを云ひまかそーとして、さきに鶴から注意され
 た事を忘れて思はず口をわいたひよーしに、からだは
 忽ち棒を離れまして、大地にぞーとおちて、甲もから
 だも、こなく／＼にくだけて、ぞー／＼死にました。で
 すから、たれでも、自分の生つきで、出来ないことは、
 したからないのがよいのです。若し無理にしたがると、
 此の龜のよーに、自分の命をなくすことがあります。



家庭

子母里そーだん、

こにし のぶはち

人類の有らん限り、無くてならぬわ良妻賢母であり

ます、勇婦烈女もないよりわ、ましたが、勇婦烈女の
 無くてわならぬといふ時わ常に無くして、良妻賢母の
 常に無くしてわならぬ、巴御前やヒメワンだーくを要す
 る時わ稀にして、孟母や松下禪尼の如き母、瀧御臺の
 妻、山内一豊の妻の如きわ常に無くしてわならぬと思ひ
 ます、又婦人わ自ら亞米利加を見出したコロンプスや、
 電氣を發明したフランクリンや、蒸氣の力を發明した
 ワットの如く大發明者たらぬでも耻るに足りませぬ、
 婦人の本務わ此の如き大發明者を養育する母となり又
 わ其妻となりて其事業を大成せしむるわ、自ら、種々
 の大發明者たるに等しといふよりも更に一層重大の任
 務なることを記憶せられ、古より良妻賢母と稱せらる
 る人々の傳記を讀みて、自ら子を養い夫を助くる工夫
 に心を用いられんことを望みます、彼の芝居を好み、
 役者を評する外になすこと無き婦人の如きわ人の母た

り人の妻たる資格を缺るものといわねばなりません。
 又琴を弾き、茶の湯に精しく、活花を巧みにする如き
 わ悪しといふにはあらぬとも之を知らぬとて耻るに足
 らぬ技と思ひます。若しそれ人情を寫せる小説を讀む
 ことを好み、しかも裁縫の術に拙く、料理の技に疎き
 ものは婦人たる資格をも缺くものとして輕んずべく賤
 むべきものと思ひますわ私の誤でありしよー？

母と子供

神門 とも

どうして、子供は、あのやうに、可愛いものでしよ
 うか、他人の子供でさへも、よき子供よりも、悪し
 き、手の多くか、りた方が、一層可愛い、こゝに至
 ては、實に、造化の妙も至れり、盡せりと嘆賞しなけ
 ればなりません。